

片瀬だより

令和4年9月25日発行
 編集・発行
 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 片瀬公民館
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

片瀬地区ふれあいまつり『片瀬でかがやく人・夢・みらい』

・10月22日(土)午前10時から午後4時まで
 《片瀬公民館》

『シンポジウム・片瀬・江の島まるごと博物館への誘い』
 『片瀬だよりバックナンバー展示』・『片瀬こま体験』
 《片瀬しおさいセンター》
 『お囃子演奏』
 『スポーツ・レクリエーションサークル発表』
 『美術・教養部会サークル作品展』

・10月23日(日)午前10時から午後3時まで
 《片瀬公民館》

『お囃子演奏』
 『音楽・芸能サークル発表』
 《片瀬しおさいセンター》
 『美術・教養部会サークル作品展』
 『ボッチャ体験』



公民館事業のお知らせ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります。

◎申込みは、すべて本館へ電話・来館(平日のみ午前8時30分から午後5時まで)またはメールで

片瀬公民館(本館)

知笑の輪倶楽部

・11月14日(月) 《要申込》
 午後1時30分から3時30分まで
 『もしものトイレ』
 申込先着20人

楽しく子育て

・10月12日(水) 《要申込》
 『子育て応援メッセ』
 ・11月16日(水)
 『たのしく英語』
 ・12月21日(水)
 『クリスマス会』
 各回、2部入れ替え制
 ①午前10時から10時45分まで
 ②午前11時から11時45分まで
 対象:未就園児と保護者20組
 (11月のみ8組)

オレの挑戦!

《要申込》
 ~Katase 男(DAN)dismへの道
 セカンドシーズン~

・12月3日(土)午前10時から正午まで
 『相州地酒に詳しい男になる』
 対象:40~50代男性20人

おもちゃの病院

《申込不要》
 ・10月15日(土)・11月19日(土)
 ・12月17日(土)
 午後1時30分から3時30分まで
 ※部品代がかかる場合があります

スマホお助け隊

《要申込》
 ・10月11日(火)・11月8日(火)
 ・12月13日(火)
 午前9時から正午まで
 各回3回入れ替え制(各回55分程度)

子ども事業 《要申込》

・11月12日(土)
 午前9時から
 午後0時30分まで
 『川名清水谷戸の
 畑で遊ぼう!』
 場所:川名清水谷戸
 対象:小学校高学年20人
 ・12月3日(土)
 午前10時から正午まで
 『もっと知ろう「私たちの森」
 作ってみよう「落葉だめ」』
 場所:稲荷の森
 対象:小学生親子15組

おひざの上のおはなし会

《要申込》
 ・10月14日(金)
 ・11月18日(金)
 ・12月16日(金)
 各回午前11時から正午まで
 対象:乳幼児と保護者5組

片瀬しおさいセンター

赤ちゃんママの 《要申込》 ふれ愛タイム

・11月7日(月)
 『オイルトリートメントによる
 赤ちゃんのボディケア』
 ①午前10時から10時45分まで
 ②午前11時から11時45分まで
 対象:生後3ヶ月から7ヶ月児と保護者4組

サロン de 手しごと 《申込不要》

・10月31日(月)・11月28日(月)
 ・12月26日(月)
 午前10時から正午まで

従来の「手芸のじかん」がリニューアルしました。手芸・折り紙を引き続きお楽しみいただけますが、新しく「手織り」も始めてみませんか?

卓球・バドミントン開放 《申込不要》

・10月2日(日)・11月6日(日)
 ・12月11日(日)
 〈バドミントン〉各回16人 入れ替え制
 ①午前9時から10時20分まで
 ②午前10時40分から正午まで
 各回、15分前から受付開始(先着順)

〈卓球〉各回32人 入れ替え制

①午後1時30分から2時50分まで
 ②午後3時10分から4時30分まで
 各回、15分前から受付開始(先着順)

忙しい人のための 《申込不要》 ナイトストレッチ

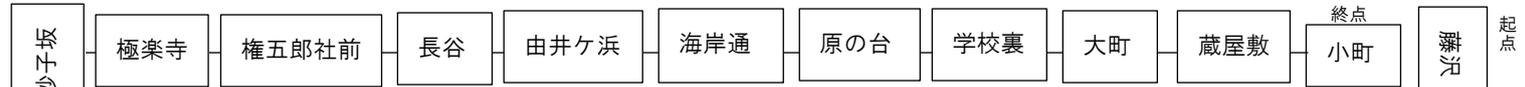
・10月27日(木)
 『ダンスエクササイズ
 DISCO WORLD』
 ・11月25日(金)
 『優しいコンディショニングと
 体幹エクササイズ』
 各回、午後7時から8時まで
 先着20人

フレイル予防運動講座 《要申込》

・10月12日(水)、
 11月9日(水)全2回
 午前10時から正午まで
 対象:60歳以上20人



詳細につきましては、館内の配布チラシ・地域回覧・広報ふじさわをご確認ください。



江ノ電開業120周年

片瀬に住む私たちの身近な交通機関である江ノ電が今年9月に開業120周年を迎えました。

江ノ電は江之島電気鉄道株式会社によって1902年(明治35年)9月1日に藤沢と片瀬(現在江ノ島)間での運行が始まりました。日本で初めてドイツ製の電装機器を用いるなど、時代の先端を行く鉄道でした。その後、路線を拡大し、1910年(明治43年)に全線が開通し、何度か合併を繰り返した後、現在の江ノ島電鉄株式会社に至ります。

全線開通当時は39の駅がありました。長い歴史の中で駅の移転や名称変更などを経て、現在の駅の数は15になります。今も昔も駅の位置、名称が変わらないのは「鶴沼」「稲村ヶ崎」「極楽寺」「長谷」の4駅です。おなじみの「江ノ島」駅は「片瀬」という名称でした。ちなみに、江ノ電の起点は藤沢駅です。したがって藤沢駅行きが上り、鎌倉行きが下りとして運行されています。



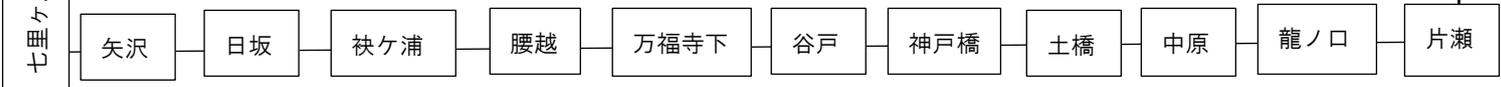
開業120周年記念のロゴマークを付けて走行する江ノ電

明治、大正、昭和、平成、令和という長い時を経た今、通勤、通学だけでなく、鎌倉・江の島観光にはなくてはならない乗り物となりました。

開業120周年を記念して7月1日より、全ての列車前面に記念ロゴマークを付けて走行しています。また片瀬の街を描き続けた金子繁治さんの絵が飾られた車両の運行も9月初旬より始まっています。

〈参考資料〉
「江ノ電の100年」
(江の島電鉄株式会社)
「江ノ電百年物語」
(湘南倶楽部編)

← 周囲の駅名は開設当時の駅名です



片瀬の老舗を訪ねて⑥

「鈴傳」



お店の前を走る江ノ電

今回お訪ねしたのは、龍口寺前の鈴傳さんです。前号の上州屋さんと同じく、こちらのお店も創業200年の歴史をもつお店です。店主の鈴木利春・保子さんご夫妻にお話しをお聞きしました。

もとは湘南地方で採れた魚や若布等の海産物を扱うお店だったそうですが、明治時代鈴木傳蔵さんが干物作りも始め、屋号を「鈴傳」とつけました。昭和初期、当時の店主の光雄さんが本格的に干物作りを始めて現在に至ります。

お店のこだわりは新鮮な魚を使うこと、魚の種類や大きさ、脂の乗り具合、季節や天候に合わせて塩の加減を調整すること、作り置きはしない、味は塩のみで調整することだそうです。これは、干物作りを始めてから、ずっと変わらず守り続けてきたそうです。

2021年に長男の健太さんがお店の奥に「炭火焼ひもの伝」を開店。出来立ての干物を炭火焼で供してくれます。干物作りは次男の康次さん。頼もしい後継ぎが片瀬の味を守っている素敵なお店です。



昭和40年代初頭
「炭火焼ひもの伝」店内には興味深い写真が沢山展示されています



鈴木保子さんと長男の健太さん

鎌倉時代、江の島に登場する人々の足跡を辿る②

堀 浩侃

「太平記」によれば、建久元年

(一一九〇年)北条時政が岩屋に参籠して子孫の繁栄を祈願したところ、満願の二十一日目に美女が現れ、「汝前世は箱根の法師、六十六部の法華経を書写して、それを六十六カ国の霊地に奉納した善根により、再び此の世に生まれた。汝の子孫は永く日本の主として栄華を誇るべし。ただし、その行いが悪ければ七代を過ぐるべからず・・・」と子孫の繁栄を約束し、美女は二十丈(約六十m)の大蛇になって海中に消えた。



月岡芳年 作 浮世絵「芳年武者无類 遠江守北条時政」

北条時政の前世は箱根法師といい、六十六部の法華経を書写して六十六箇国の霊地に奉納した功德で、この世に生まれ変わったといわれている。六十六部とは書写した法華経などの経典を釈迦入滅後、弥勒菩薩が如来

となつて出現するまでの間(五十六億七千万年後迄)保存するという目的で日本六十六箇国を廻り、その国々の聖地に一部ずつ納める目的で諸国の寺社を廻ることをいう。

時政は、岩屋に参籠し「諸願成就した」と喜んだあとに残った三枚の鱗をもとに北条家の家紋を定めたという。江戸川柳に「ミ」に身(自分)と巳(蛇)をかけている句がある。

「ミにあまり時政家の紋にする」

その後、小田原北条氏も家紋を「三鱗」にしている。また江島神社の社紋の「向かい波三つ鱗」もこの伝説に因んだものである。



北条氏の家紋「三つ鱗」



江島神社社紋「向かい波三つ鱗」

後の世では俗人が行う廻国巡礼も見られるようになる。江島神社中津宮の境内に古帳庵・古帳女の句碑がある。江戸小網町の豪商(古紙回収業とされる)鈴木金兵衛夫婦が建立されたものであるが、この碑は天保十二年(一八四一年)六十六部廻国成就記念に、江の島の橋屋武兵衛などの世話で建てられた旨が、裏面に刻まれている。

江の島は教材の宝庫② 「江の島で地層観察」

小学6年生の理科では土地の作り方や地層について学習します。藤沢市内で地層の見学をするのであれば、江の島はとても良い見学地です。

写真は南の防波堤から見える崖に解説を加えたものです。地層は大きく2つに分かれています。

下は灰色の地層で、南の磯と一体です。細かい砂粒の集まりが中心で砂岩とい

います。1600万年前に遠い南の深海で長い時間をかけて積み、プレート動きに伴って日本列島の一部となりました。上は茶色の地層です。茶色い土



が中心で火山灰です。10万年前ごろに、主に箱根火山から噴出された火山灰・火砕流が堆積したものです。上と下とは、全く年代が異なりますね。南の磯で海を楽しみむ際は、江の島の崖も見上げてみてください。

著・写真 鹿兒嶋 英克

私の散歩道 「江の島」

江ノ電江ノ島駅前前で観光客から「海はどこですか?」と聞かれたので「東浜?西浜?」と聞くと「とにかく海です」と言われ、江ノ島駅からどちら側に海があるかも知らずに観光に来てみると驚いたことがある。

ただ、江の島大橋を渡り、島内に入ると「これぞ観光地」の雰囲気は格段に上がる。参道の両側に連なる土産物店や飲食店を目の当たりにすると対岸に住んでいても、江の島に行った帰りは土産の一つも買いたくなるものだ。(M)



片瀬のワンショット

1990年の市制50周年に設置され、2040年に開封のタイムカプセル。どこにあるかご存知ですか?

(答えは4面です)



ふるさと片瀬く今昔あれこれ③⑦

中村 喬

江の島に「水族館」があった!

私の記憶に残る水族館は、昭和二十九年に開館された「江ノ島水族館」である。国道の海側ではなく、山東側に細長い建物として水族館はつ側につくられた鉄筋コンクリート二階建てのしなれた建物であった。一階 芸場もあつて、娯楽館としても機能しに水槽が並べられ、二階は資料の展示がされていた。

昭和三十二年には鯨類が泳ぐ水族館として砂浜に第二号館がつくられた。江ノ島マリリンランドと名づけていたという。また、水族館の手前がジャンプをするという夢のような話になった。さらに数年後には江ノ島海獣動物園も開設されてオットセイやアザラシの姿を楽しむことができた。

今、私たちは新江ノ島水族館を折に触れて訪れ、相模湾大水槽のマイワシの群れに驚き、クラゲの姿に癒されている。ここがオープンしたのは平成十六年だった。

実はその遙か昔に江の島の島内に水族館があつたという話を聞いたことがある。しかも一度ならず二度、水族館はつくられたのである。

最初の水族館は明治三十五年に開館している。開館のお知らせが当時の新聞広告欄に載っているのだ。水

槽の魚を見せると同時に水産物などの販売もしていたようだ。この年、江ノ電が藤沢と片瀬の間で開通している。ただこの水族館は長くは続かなかつたようである。

江の島に住む大先輩の宇田川英男

江の島に水族館があつたのだ!

【江の島や岩本院の薄紅葉】



のぞいてみよう! 公民館

「知笑の輪倶楽部」



「緑茶を食べる ~茶は養生の仙薬なり~」より

令和3年度から始まった「知笑の輪倶楽部」。

隔月で、地域の歴史や生活に役立つ情報や娯楽など幅広く学ぶ講座になっています。

本年2回目の7月25日(月)は「緑茶を食べる」茶は養生の仙薬なり」でした。緑茶は飲むだけでは3割程度の栄養素しか吸収ができません。茶殻を捨てるのではなく、食べることで緑茶の栄養をしっかりと吸収したり、お掃除に使うなど、お茶について余すことなく楽しく学びました。

今後は、「防災」「終活」「IT」についてを予定しております。地域とつながりながら生活を楽しくして欲しいという片瀬公民館の思いから生まれた講座です。毎回、大変ご好評いただいております。ぜひ、「」参加ください。

片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも一人6冊まで2週間借りられます。

【開室時間】火、日曜日 午前10時~午後5時

《新刊案内》

- 「80歳の壁」 和田 秀樹
- 「セカンドチャンス」篠田 節子
- 「鎌倉北条氏の女性たち」 今井 雅晴
- 「朽ちゆく庭」 伊岡 瞬
- 「あつちこつち食器棚めぐり」 伊藤まさこ
- 「掬えば手には」 瀬尾まいこ
- 「八丁越(新・酔いどれ小藤次)④」 佐伯 泰英
- 「かみなり(写真絵本)」 妹尾堅一郎

編集後記

校長先生が、今年度も「笑顔あふれる片瀬小学校」を目指したいと、ある会のご挨拶でお話されていました。学校にお邪魔すると、子どもたちからも教職員の方々からも、マスコ越しですが大きな声で「こんにちは」「おはようございます」と声をかけられ、口元が綻びます。笑顔は一瞬の出来事かもしれませんが、心の中にほのかな灯をともしてくれます。(石)

【片瀬のワンショット答え】片瀬市民センター2階ホール前